

流域1万人だより 031～040

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

031. 日田市 川原町公民館 (2004.09.21)

032. 日田市 高瀬校区公民館 (2004.09.24)

033. 日田市 日ノ隈公民館 (2004.09.27)

034. 日田市 光岡公民館 (2004.09.28)7)

035. 南薫公民館(久留米市)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.09.09)

036. 善導寺校区公民館(久留米市)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.09.10)

037. 篠山校区公民館(久留米市)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.09.1

038. 甘木市 三奈木公民館 (2004.10.29)

039. 大刀洗町役場 (2004.10.26)

040. 長門石校区公民館(久留米市)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.09.29)



流域 1 万人だより VOL. 31

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

9月21日(火)に日田市川原町公民館で 隈・竹田地区地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく流域1万人会議がスタートしています。今回は9月21日(火)に川原町公民館(日田市)において計画説明及び協力依頼を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名	日田市
①. 代表者懇談会	
2. 住民懇談会	
出席者	
国	3
県	0
市	1
住民	5

主な意見

【河川の整備について】

緑橋の下流の散歩道路が崩れた際に、行政が修繕策として石を置いた。そのためにゴミが溜まり住民は迷惑している。石を入れる際の相談が住民に対してなかった。住民からは石を撤去して欲しいとの意見が出ている。また亀山橋の所にアズ(ヘドロ)が溜まって、市民からは浚渫を求める声が上がっている。三隈川の散歩道路をぐり石(玉石)にして欲しい。若宮町～三芳までの約80mが未整備になっている。以前要望も行ったが、観光面での整備は対応が難しいと言われた。旅館街前の散策路(護岸)は直角になっており、子どもが落ちたら這い上がることができない。また庄手川では以前に子どもが落ちて亡くなったこともあった。緩やかでのぼりやすい護岸に整備して欲しい。大分県の国体でボート競技を夜明ダムの上流で行うことになっているが、観覧席になるような所がない。

【除草について】

国の除草回数が少ないため、住民が個人で除草作業を行っている。国の除草を5月の観光祭の前に行って欲しい。市へ委託を行うなど、住民に除草をまかせて欲しい。

【昔の筑後川について】

昔は庄手川が本流で、筑後川が支流だった。また川下りなども行っていた。昭和28年災害よりも以前は、島内堰より上流は石河原が広がり花畑のようにになっていた。川には電線などもなく、凧揚げなども行っていた。

【自然環境について】

夜明ダムは本当に必要なのか。日田市民は必要性を感じていない。むしろ鮎の遡上の障害になるのではないかと。

.....【お断り】夜明ダムは河川管理施設ではありません。発電を目的としたもので、九州電力が管理しています。】
三隈川に棲む魚の種類が変わった。昔はオヤニラミがいた。今は外来種が多く在来種を食べてしまう。松原ダムにはブラックバスがいるが下流まで進出してきている。

【その他】

三隈川の浄化について、公民館主催でセミナーを実施している。公民館には多数の団体関係しており、川の問題を話し合っている。

代表者懇談会の様子



流域1万人だより VOL.32

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

地域名 日田市

①. 代表者懇談会

2. 住民懇談会

出席者

国	3
県	0
市	1
住民	8

日田市 高瀬校区公民館で、お話しを伺いました！！

「筑後川水系河川整備計画」策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。

今回は9月24日(金)に日田市 高瀬校区公民館において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き多くの方からヒアリングを行っていく予定です。

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔の筑後川は石の河原で、今のようなヨシはなかった。上流にダムができて洪水の恐れは少なくなったが普段の水が少なくなったことの影響があるのではないだろうか。キギなど清流にすむ魚もいなくなった。

昔は銭淵橋から飛び込んで遊んでいた。

昔から三隈大橋下流付近は渦がまいていて、以前は黒岩の渦と呼ばれていた。

昔は中ノ島は人家が少なかったの、火をたいて(鬼火だき)、子どもたちがモチを焼いたりしていた。

【川の活動について】

高瀬校区では、以前より「高瀬川を守る会」の活動を自治会で行っており、毎年8月には子どもたちが高瀬川で遊ぶイベントを行っている。

銭淵町、京町など自治会レベルでの除草、清掃活動を長年行っている。

【ゴミ問題等について】

大宮町の沈み橋付近で、草むらにゴミ(野菜類)を捨てているのを2回見かけた。草がはえていることも原因ではないか。

水質が悪く、汚泥がたまっている。

三隈堰の上流は土砂が堆積している。浚渫が難しいならば、島内堰の平常時の操作で対応できないか検討してもらいたい。

【今後の川づくりについて】

銭淵町(左岸側)は、無機質な堤防で、治水機能のみを満足している印象をうけ利用しづらい。木を植えたりすれば、散歩に行く人も増える。

子どもたちが遊べる広場がほしい。遊べる場所がないため、河川への関心もないのではないか。

中ノ島にも台霧の瀬のようなものをつくってもらいたい。

中ノ島から大宮沈橋まで周回できる散策道ができると、地元住民はもちろん観光客も利用することができる。

夜明ダムの必要性について疑問の声も聞かれる。もし、夜明ダムが撤去されれば、連続性を取り戻すことができ、アユの遡上、舟運復活、しずんだ大明神も見ることが出来る。

【お断り: 夜明ダムは河川管理施設ではありません。発電を目的としたもので、九州電力が管理しています】

地域懇談会までには、「高瀬地区で何かしていこうじゃないか」ということをみつけるべきである。

【その他】

地域懇談会までに、昔の川の写真(できれば川で遊ぶ写真)を集めていきたいと思う。当日は、写真を展示したい。

地域代表者ヒアリングの写真



流域1万人だより VOL.33

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

9月27日(月)に日田市日ノ隈公民館で 日ノ隈地区地域代表者懇談会を開催しました！！

「筑後川水系河川整備計画」策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は9月27日(月)に日田市・日隈公民館において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き多くの方からヒアリングを行っていく予定です。

地域名	日田市
-----	-----

① 代表者懇談会
② 住民懇談会

出席者	
国	3
県	0
市	1
住民	6

主な意見

【河川整備計画について】

整備計画に利用や管理も入るので、流域委員会に教育者等も入れるべきだと思う。
1万人会議に玖珠町、上津江村を加えるべき。

【昔の筑後川について】

水郷・日田では、水路で米を研いだり、そうめんを冷やしたりしていた。それだけ水がきれいであった。川に関係した祭りも賑わっていた。
昔、筑後川(三隈川)は石積み護岸で柳があった。庄手川は石河原であった。
昭和28年水害の時、亀山橋は落橋した。

【河川整備について】

コンクリート護岸ではなく、石積み護岸などの昔の川にしたい。
治水上強固に整備する箇所、環境を考慮し蛇籠等により整備する箇所など治水と環境の折り合い(両立)を考えなければならないと思う。
中ノ島を桜堤になると良いと思う。
河川は上下流を結ぶもので、昔は舟運などで繋がっていた。近年、上下流の連携が薄れてきている。上下流の連携を深めるべきであると思う。
亀山橋について、都市計画道路としては下流側に改築予定だが、地元としては現橋を残して欲しい。沈橋でもいいので生活道路として残せないだろうか。
庄手川は放水路のような状況で流速があまりに速い。また、両岸がコンクリートブロック護岸で、落ちたら掴まる所もなく危険である。庄手川を川遊び、魚釣りのできる川に整備してほしい。
庄手川1k000付近(亀川橋付近)左岸に用水吐ゲートがあるが、河川敷水路がなく浸食されている。水路整備してほしい。

【除草とゴミ対策について】

河川をきれいに利用しやすくするために地元団体に除草を行いたいですが支援等ないのか。ある程度の実費は欲しい。(アダプト制度による清掃・美化活動があると説明させて頂きました。)
庄手川流入部は藻が繁茂しているため、ゴミが溜まって汚い。以前は観光業者が清掃していた。

【利活用について】

堤防道路の活用をしたい。
庄手川でイカダ祭りを行いたい。
河川情報館(くるめウス・はなむね・朝霧の館)は連携してもっと利用しやすくしてほしい。

【活動・取り組みについて】

全国の小学校が利用している教科書(社会科3・4年)に筑後川(日田での水利用)が取り上げられている。河川事務所はこれを機会に小学校への説明など、筑後川に関する情報提供(説明)や上下流連携の仕組み作り等の取り組みを行うべきであると思う。
ノーポイ運動は川沿いだけではなく、その他の地区も一緒に活動してほしい。

地域代表者ヒアリングの写真



流域1万人だより VOL.34

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

9月28日(火)に日田市光岡公民館で
光岡地区地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は9月28日(火)に光岡公民館(日田市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名	日田市
① 代表者懇談会	
2. 住民懇談会	
出席者	
国	3
県	0
市	1
住民	7

主な意見

【昔の思い出】

昔、光岡橋から光岡堰の間は竹林も多く、禁漁区となっていて立ち入りが制限されていた。再度、禁漁区を設定するなどすれば良い生物環境が生まれるのではないかと。とにかく今の川は杓子定規で情緒がない。昔は岸に野原があって放牧していたし、魚もコイ、フナ、アユ、ドンコ、ギューギュー、カマツカなど種類も多彩だった。昔は川で良く泳いだし、魚捕りや石積み、いろんな遊びをしていた。また、夜明ダムができる前はいかだ流しも行われていて、声をかけて乗せてもらい杷木町まで下っていた。川はまさに友達だった。昭和28年水害時の降雨は「天の底が抜けた」と表現されるほど激しいものだった。家屋、木橋などが立ったまま流れていくというすごい状況だった。

【ゴミ投棄について】

最近、ゴミの投棄が目につくようになった。川を流れて夜明ダムで止まっているゴミの量を見ると驚いてしまう。少しでもゴミを捨てさせないように住民の意識を高めて行かなければならない。川中に葦が生い茂ってしまい、ゴミを捨てやすい環境になっている。自分たちで葦を刈っても処分に困る。葦を取り去ればゴミを捨てなくなるのではないかと。川はごみ捨て場だと考えている人もいる。「捨てる人は捨わない、捨う人は捨てない」

【環境・利用について】

二串川は水質がよくなく、堆積物の浚渫を行った際にも悪臭がした。上流にある畜産業者の影響かもしれないが何とか改善してもらいたい。又、直轄管理区間だけではなく筑後川水系全体でみるべきではないかと。光岡小学校に通う子どもたちが堤防道路を通学路として利用しているが、非常に狭くなっている箇所もあり、危険性の高いところだけでも拡幅してもらえないだろうか。公園や広場が少ないので、荻鶴橋下流の右岸の河川敷を老人会や子ども会が利用できるような多目的広場にしたい。今の川はすっかり整備されてしまっ愛着が薄れてしまった。将来の川づくりはコンクリートで固めず、石積みを行ったり草原を残したり、みんなが親しめるようにして欲しい。ここ4～5年でホタルを見るようになった。下水道の整備によって水がきれいになったせいもあるのだからうがたいへん嬉しく思う。

【河川改修について】

庄手川は約20年前の改修工事によって水面幅が3分の1ぐらいになってしまった。したがって川の流れも非常に急で、子どもが落ちたら流されてしまう。(犠牲者も出ているとのこと。)近づけない危ない川というのが現状である。また、河川敷が広がって草刈りも増えるばかりでボランティアでも行っている。低水路が蛇行し、蜷が住み、「川はいいなあ」と思える川にして欲しい。

【消防用坂路について】

徳瀬橋付近で火災が発生した時、消防用車両が水を取るため河川敷を通行するにあたって、樋管吐出し水路のフタ(床板)設置幅が狭く、又、車両の底を擦ってしまうような形状なため消火が遅れたことがある。

代表者懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL . 35

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

9月9日(木)に南薫公民館(久留米市南薫町にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、24名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

出席者

国	10
県	2
市	3
住民	24

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔の筑後川ではジストマが一番危険であった。

川の中に入ると踏むほどの稚鮎がおり、ウナギの遡上も多く、小さな魚がザルですくえた。

水は四万十川の蒼い水の色と同じだった。確かに今は、治水、利水は改善しているが環境は悪くなっている。

筑後大堰の建設も無縁ではないと思う。

アオギ(シジミ)、ホーソゲ等を取って食べていた。ジストマが流行する前は、筑後川が海水浴場だった。

【昭和28年水害について】

内務省時代は、久留米より合川のほうが堤防が20cm程度低かった。また、宮ノ陣の橋梁で縦に流れてきた材木が引っ掛かり流水が阻害された。これらが破堤の原因だと思っている。

【治水対策について】

昭和28年大水害の実績流量は1万2千トンから4千トンと聞いているが、現在の治水計画は何トンとなっているのか。(長期計画では瀬の下で9千トン、降雨としては513mmに耐える計画としている。)

昭和28年大水害と同じ2日雨量で513mmが降ったとき、何カ所まで破堤してどの様になるのかシミュレーションしているのか。(堤防1km間隔で破堤した条件でシミュレーションしており、HPにも掲載している。)

蛇行を真っ直ぐに、狭いところを広く、浅いところを深く、洪水のない川を造るために早く改修を進めて欲しい。

川幅を広げ堤防を頑丈にして、堤防道路の活用をできるようにお願いしたい。

【環境整備について】

川で子どもたちが遊べるように浅いところや砂浜を造ってほしい。

高良川は環境に配慮した整備がなされているが、草が生い茂り、そのためか利用も少ない。

【河川利用について】

河川敷のゴルフ場、野球場、サッカー場がうらやましいと聞くが、地元の人あまり利用しておらず非常に残念。堤防道路は気持ち良く便利。大川から天瀬まで直線で繋げてほしい。

東櫛原の閘門を早く完成させて、四万十川のように遊覧船が行き交う川にして欲しい。

【その他】

筑後川の水を福岡市に持って行っている、福岡に行った水は有明海に帰って来ないが、筑後川の下流を考えた場合に影響はないのか。

水が欲しい人は久留米に住んで欲しい。久留米は合併してさらに大きくなるが、さらに九州一の大都市に発展するようなランドデザインを国土交通省は考えて欲しい。

住民懇談会の写真



流域1万人だより VOL.36

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

地域名 久留米市

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

9月10日(金)に善導寺校区公民館(久留米市善導寺町)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、42名の住民の方から活発な意見が出されました！！

出席者

国	8
県市	2
市	3
住民	42

主な意見

【河川改修について】

赤岩樋門の改築について、平成5年頃から改築要望を出しているが具体的な動きがない。内水氾濫が頻発している。早急に進めてもらいたい。
飯田地区は国道210号や通学路が毎年のように浸水している。安心して通行できるようにしてほしい。

【河川環境について】

昔はエビやウナギがいた。昔のような生き物の棲める安心・安全な川になって欲しい。現在は子どもたちが川で遊べるような場所がない。支川に遊び場をつくって欲しい。川に入漁券があるために自由に川で魚釣りをすることができない。もっと自由に利用できないものか。川に瀬や淵があるのは構わないが、緩やかな水路をつくって川の怖さや環境学習などのできる筑後川になって欲しい。
柳が多く、よい環境となっているが、治水面から計画的に伐採するなど流下能力の向上を図る必要がある。

【利水について】

1トンの野菜を作るのに1,000トンの水が必要になる。米を作るには2,700トン必要だ。将来の食糧問題を考えるとダムを含めた水問題の対策が必要だ。

【善導寺町生活環境部会の意見】

赤岩樋管の流域に係る市街部の総合的な内水対策。
鎮西湖及び周辺の自然環境ゾーンとしての環境整備対策。
鎮西湖の水質浄化対策。
県管理区間を含めた津遊川樋門流域の水質浄化構想の推進。
リバーサイドパーク整備対策(古北～木塚～与田～鎮西橋)
駅伝・フルマラソンコースの整備対策。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 37

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

地域名 久留米市

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

9月17日(金)に篠山校区公民館(久留米市篠山町)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
37名の住民の方から活発な意見が出されました！！

出席者

国	7
県	2
市	3
住民	37

主な意見

【昭和28年水害について】

S28災では、朝日町で浸水し、水が1週間ひかなかった。
S10にも大洪水があったが、S28災ではその経験が活かされなかった。

【治水対策について】

筑後川の整備だけでなく、池町川の整備もしてほしい。
最近の異常降雨に対して、この地域は大丈夫なのか。

【河川の整備について】

堤防の拡幅だけでなく、地下に雨水を貯留する施設ができないのか。

【河川環境について】

昔ながらの環境が失われている。アシや砂場があった。
筑後川に棲む生物がずいぶん変化している。
コンクリートの無機質な川になってきている。
篠山城の下に水をひいて水辺で楽しむ場として大きな池の整備をしてほしい。

【その他】

吉井町の中州に養豚場のし尿が筑後川に流失し、環境汚染をしているのではないか。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.38

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

10月29日(金)に三奈木公民館(甘木市)で 三奈木地区地域代表者懇談会を開催しました！！

「筑後川水系河川整備計画」策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は10月29日(金)に三奈木公民館(甘木市)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き多くの方からヒアリングを行っていく予定です。

地域名 甘木市

1. 代表者懇談会
2. 住民懇談会

出席者

国	3
県	2
市	1
住民	15

主な意見

【水質について】

三奈木地区では佐田川から流れる水質が一番の関心事である。灌漑用水にオオカナダモが繁茂する。昔ではありえなかったことだ。農家が年に4回掃除しているがそれでも間に合わない。寺内ダム上流にある畜産団地や生活雑廃などが原因だろう。クレソン程度の浄化では追いつかない。佐田川の水質の悪化は水量の減少が原因ではないか。

【河川敷の除草について】

河川敷の除草の回数を増やして欲しい。
板谷から桜花の所に桜を植えたい。
久留米市の河川敷は芝生になっているが、甘木市についてはヨシやアシが繁茂している。河川敷は昔は子どもたちの遊び場だった。再び遊び場として使うにはきれいにしなければいけない。アダプト制度での除草は、板谷地区周辺であれば気運が盛り上がっているため実現可能である。ぜひ具体的な内容を教えて欲しい。
三奈木地区は地域住民の手で河川敷の除草や管理を行政に頼らず行ってもいいとの意識がある。現に板谷地区では除草を地元で対応している。

【河川の整備について】

今の子どもたちに「川は危険な一面を持っている」という意識を持ってもらい、また親水性のある川づくりを行って欲しい。
今は水害が起きないから川底が流れないので、川底の整備をして欲しい。

【文化の保全について】

佐田川のエビラ井堰は今から262年前の寛保3年に完成した三奈木の文化遺産である。取り壊すとの話も出たりするが、三奈木としては保全していきたいと考えている。

【佐田川の流量の減少について】

寺内ダムが建設される際、0.24トンの流量を確保するという内容で住民も納得したが、現在では0.24トン以下になってるのではないかと感じる。

【その他】

意見の言いっぱなし、聞きっぱなしにならないようにして欲しい。
河川整備計画には横のつながりが必要。環境省との連携も必要では。計画にはダムという現実を踏まえて昔の環境に戻すのか。それともダム以前の環境を目指すのか。

地域代表者懇談会の様子



流域1万人だより VOL.39

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

10月26日(火)に大刀洗町役場にて 地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」がスタートしています。今回は10月26日(火)に大刀洗町役場において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名 大刀洗町

①. 代表者懇談会
2. 住民懇談会

出席者	
国	2
県	0
町	4
住民	9

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔は川で泳いだり、洗濯したりしていた。川の水も昭和30年代は飲むことができたが、今では水の色も違うし、利用量も違う。昔の水、川の風景を取り戻すのは並大抵のことではない。

【治水対策について】

河川の整備について、大刀洗は遅れているような気がする。以前のように冠水するような箇所はないが、昨今の異常降雨があった場合はどうなるのかはわからない。

【環境・地域対策】

昨年度、佐田川(金丸橋付近)の管理用道路の舗装をしてもらったが、車の通行量が多くなってしまった。幅員が非常に狭く離合の際に危険であるため、一般車両が通行しないように看板を設置してはどうか。筑後川の河川において、ジャカゴを用いた工事を行っている箇所が見られる。ただ単にコンクリートで固めるよりも環境に配慮した工法で工事を進めることはこれからも必要である。

ホテルひとつにしても、コンクリート張りでは育たない。生物が生息できるような環境づくりが必要である。有明海に流れ出る砂が少なくなってしまったために、貝も捕れなくなってしまったのではないか。なんとか砂を下流に供給する方法はないものか。

昔と今の川の違いは魚を見れば一目瞭然である。魚体(とくに尾びれ)をみると明らかに汚れてしまっている。現在でも魚を獲る場所によって食べられるものと食べられないものがある。

川が汚れてしまった原因として、石けんから合成洗剤へ代わったこと、油類の利用増加等により、家庭からの排水が汚染されてしまったことが考えられる。

地域代表者懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 40

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

9月29日(水)に長門石校区公民館にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
37名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市

1. 代表者懇談会

②. 住民懇談会

出席者

国	10
県	2
市	4
住民	37

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昭和30年代の筑後川の水はきれいだった。大善寺のあたりまでヨシガニを捕りにいき、疲れたら筑後川の水を飲んでいたものだ。

支川の古川の水もとてきれいだ。花火大会のときにはホタルが飛び、イカダが流れるゆっくりとした川であり、砂もたくさんあった。

昔はヨシやアシがあって水を浄化していた。汚い水は自然によって浄化されると聞いた。

【治水対策について】

長門石に住んでいて、528年以降水害に遭っていない。ダム等の整備もあるが、河川敷を整備してヨシを刈ったのも大きいと思う。水害がなくなった事に対しては非常に感謝している。

時間100mmに達する程の集中豪雨があった場合、今の筑後川の治水はこれに耐えられるようになっているのか。(堤防の高さや幅が足りない所等があり、必ずしも充分ではない。長期的な時間をかけて整備していきたい。)

【河川管理について】

堤防道路は幅員が狭く離合の際に非常に危険である。中央線が引けるぐらいの幅員は必要。

長門石橋から河川敷に降りる階段の勾配が急で危険である。他の場所にも同じような箇所があると思われるので点検をして改善を行って欲しい。

【水利用について】

筑後大堰ができて湯水がなくなった。そういう意味では感謝している。

筑後大堰ができたことにより、水が汚くなってしまったように思う。大堰は地元というより、福岡・佐賀への貢献度が高いのではないかな。

【その他】

長門石橋は幹線道路になっていて、子どもたちやお年寄りが通るうえで、風が強い時は非常に危険である。防護壁など工夫して橋を造れないものかな。

筑後川には橋が多い。デザイン的にもっと工夫をした橋があってもいいと思う。

住民懇談会の様子

